

スラスト帯での表層削剥による断層活動への影響 Effects of surface erosion on fault activity in thrust-belts

山田 泰広^{1*}, 中務真志¹, 松岡俊文¹

Yasuhiro Yamada^{1*}, Masashi Nakatsukasa¹, Toshifumi Matsuoka¹

¹ 京都大学大学院工学研究科

¹ Graduate School of Engineering, Kyoto University

付加体などのスラスト帯はその内部に形成される多数の低角逆断層の変位によって隆起するが、特に陸上スラスト帯で顕著なように、隆起部はふつう削剥される。この隆起部の削剥が構造形態とその形成過程に与える影響について、モデル実験と個別要素法シミュレーションで検討した。今回は特に、表面傾斜角度に対応して削剥量を決定するパラメータと表面傾斜角の変換点に対応して削剥量を決定するパラメータの効果について検討したので、結果を報告する。